

島 根 大 学

# 保健管理センター松江年報

[2021年度]

島根大学保健管理センター松江



## 保健管理センターにご縁をいただいて

保健管理センター松江 猪口かおり

2021年4月より保健管理センター松江にカウンセラーとして勤務しております、猪口かおりと申します。

教育現場や一般企業で働いた後、一念発起して大学院で心理学を学び、以後、カウンセラーとして病院や学校、大学などに勤務している中、ご縁をいただき島根大学に入職いたしました。

入職した2021年は新型コロナウイルス感染症の影響が色濃く、大学を取り巻く状況や構造は大きく変化していました。オンライン授業など授業体制の変更、部活動や留学の中止、企業の採用縮小など、学生たちは本来あるはずだった大学生活を普段通りに送ることができないうえに、将来も見えにくい、不安に満ちた生活の只中にいました。保健管理センターでは、連続して変化する状況の中、学生たちはどのような心理的体験をしているのか、こころの健康を維持するにはどのようなサポートが必要か、新たにWebでの相談受付やオンライン相談を導入するなど日々試行錯誤を繰り返しながらの“緊急事態”対応が継続されてきました。当初、私は自分の果たすべき役割や立ち位置も定まり切らないまま、その動きに何とかついていこうと精一杯でした。

そんな目まぐるしい日々の中、心身の不調を入り口に相談され、その後じっくり自分に向き合ってみたいという学生との出会いがありました。「いつもより一人の時間があるので本当に自分に必要なものを見つける機会にしたい」と話され、性格や発達特性、家族との関係など、これまで取り組んでいなかった自分自身の様々な課題について時間をかけて整理していかれました。厳しい現実を受けとめながら逞しく、しなやかに変化していく成長の姿に、話を聞かせていただいた私の方が励まされました。そして「困難な状況をいかに取り除くか」ばかりに捕らわれ、緊張感と焦りの中で活動していた私に、新たな示唆を与えてくれました。

相談は“不調や困難を取り除く”ことを目的として始まりますが、学生のみなさんとの出会いを大切にしながら、その先にある彼らの豊かな創造力が発揮されるよう最大限のお手伝いをさせていただきたいと思っております。どうぞよろしく願いいたします。



## 目 次

### 活動

I : 目標と計画	1
II : 学術研究活動	4
1. 学会・研究会参加	
2. 学会・研究会発表	
3. 著書	
4. 学術論文	
5. 報告書	
6. 学術雑誌査読	
7. 研究助成	
III : 教育活動	6
IV : 社会貢献・講演	7
V : 事業・業務	9
VI : 保健管理部門	10
1. 学生健康診断	10
(1) 定期健康診断・事後措置	
(2) 特別健康診断	
(3) 特殊健康診断	
(4) 臨時健康診断	
2. 保健管理センター利用状況	14
(1) 学生・職員等の健康相談等	
(2) 禁煙相談・支援窓口、禁煙外来	
(3) 留学生対応	
(4) 新型コロナウイルス感染症対応	
VII : 学生相談部門	18
1. 学生定期健康診断時のカウンセラー面接	18
2. 学生相談室利用状況	18
3. 支援活動報告	22
VIII : 教職員の健康管理	23
1. 教職員センター利用件数	
2. 一般定期健康診断事後措置	
3. 特殊健康診断	
4. 高ストレス者産業医面談	
5. 復職支援	
6. 学外メンタルヘルス相談機関	

IX : 広報・教育活動	25
1. 全学研修会の開催	25
(1) 飲酒に関する講演会	
(2) ジェンダーに関する講演会	
(3) 依存症に関する講演会	
2. 教職員対象の研修会	25
(1) 学部との学生相談連携会議	
(2) 学部・学科等における研修会	
(3) 新任教員・新採用職員研修	
(4) 感染症対策研修	
3. 学生対象の研修会	26
(1) 新入生対象オリエンテーション	
(2) 入学時オリエンテーション「健康な学生生活を送るために」	
(3) 「薬物乱用の注意」「カルトへの注意」	
4. 保健管理センターのしおり発行	26
5. 保健管理センター松江ホームページ	27
6. e-ラーニングの実施	27
X : その他の活動	28
1. 学内機関との連携	28
(1) 障がい学生支援室	
(2) 学生相談室会議	
2. 学外機関との連携	28
(1) 島根県東部発達障がい者支援センター「ウイッシュ」	
(2) 松江公共職業安定所（ハローワーク松江）	
(3) しまね性暴力被害者支援センターさひめ	
3. 緊急支援	28

## 資料

I : 保健管理体制	35
1. 組織	
2. 構成	
3. 島根大学教育・学生支援機構規則	
4. 島根大学学生相談室規則	
II : 沿革	39

活 動



## 活動

### I：目標と計画

#### 第3期中期計画

(平成28年4月1日～平成34年3月31日、関連する箇所のみ)

#### I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

##### 1. 教育に関する目標を達成するための措置

##### (3) 学生への支援に関する目標を達成するための措置

21 FD・SD研修等を通じて学生支援センター、保健管理センター及び各学部間の連携体制を強化するとともに、平成28年度に「障がい学生支援室」の設置などにより障がいのある学生を含めた多様な学生に対する相談体制を整備し、修学を支援する。

#### V その他業務運営に関する重要目標を達成するためにとるべき措置

##### 2. 安全管理に関する目標を達成するための措置

76 学内構成員の健康保持に努めるため、大学が実施する健康診断の受診機会を、特定化学物質・有機溶剤を常時使用する学生(約120名)に広げるとともに、法令等に基づき適正な安全衛生活動を実施する。

### 令和3年度計画・取り組み内容

#### 計画

②コロナ禍における健康リスクを軽減するために、教職員、学生に対してオンラインでの健康相談、e-ラーニング、Web講演会を実施するとともに心身の健康リスクが高い学生に対しオンラインでの個別指導を行う。またコロナ禍におけるメンタルヘルスに関するFD・SD研修会を実施する。令和2年度に試行したWebでの学生健康診断問診やコロナ問診を本格的に実施し、質的向上とともに業務の効率化を図る。

#### 取り組み

##### 1) コロナ禍における教職員・学生を対象とした健康リスクの軽減について

- ・教職員・学生とも体調不良についてFormsに入力によるオンライン健康相談システムを構築した。
- ・2021年7月27日に「依存症について」、10月15日に「多様な性について」、11月26日に「飲酒について」のWeb講演会を行った。
- ・心身の健康リスクが高い学生に対し、オンラインおよび必要に応じて対面による個別指導を行った。
- ・松江キャンパス全学部の教授会において、コロナ禍で増加している自殺防止のためのFD/SD研修会を実施し、教職員の88%が参加した。
- ・11月よりe-ラーニング「Withコロナでの心と体の健康維持について」を行い、90%以上の教職員が視聴した。また、安全衛生委員会と協力して「松江キャンパスでの受動喫煙防止対策について」のe-ラーニングを行った。
- ・2021年7～11月に学生、教職員、松江市職員計4,856名(計9,635件)に対し、コロナ対策室と連携しワクチン接種を実施した。「島根大学における新型コロナウイルス接種について」の動画を作成し、学生、教職員に接種を呼びかけるとともに、1月末までにHPに10件の情報提供を行った。

##### 2) Web問診の導入について

- ・Webでの学生健康診断問診を実施し松江キャンパスでは3,568名が回答した。

- ・ Web でのコロナ問診を実施し、1 月末まで 202 名から連絡があり、対応および支援を行った。

## 計画

③保健管理センター・学生相談室で留学生の Web 相談申し込み制度を構築し相談窓口の拡充を図る。これによって得られた相談内容を国際交流センターと共有し、より多様な学生相談への支援や対処方法を検討する。

## 取組

- ・ 9 月 15 日に国際交流センターとの連携会議、9 月、3 月に障がい学生支援室を含む「拡大学生相談室会議」を開催し、各学部・研究科の学生委員長を交えた情報共有を行った。
- ・ 留学生のメール相談フォームについて国際交流センターと話し合い、原案を作成した。
- ・ 学生相談室への学生からの相談は、2019 年度 1,762 件に比べ 2020 年度 2,234 件と 1.3 倍となり、2021 年度 4～1 月は 2234 件で前年同時期の 1.1 倍であった。教員からの紹介も 2019 年 162 件に比べ 2020 年 180 件と増加した。
- ・ コロナ禍で不安が高まった学生に対し、オンライン面接や申し込み Form を工夫し学生の支援を行った。

## 第 3 期中期目標期間に係る業務の実績に関する報告書

(令和 4 年 6 月大学公表) (関連部分の抜粋)

### ○全体的な状況

#### 新型コロナウイルス感染症に関する記載について

○コロナ禍による学生の不安に対応した相談体制の構築：保健管理センターにおいて令和 2 年度、全学の学生と教職員を対象として、体調不良時や罹患疑いの際にいつでも報告が出来る、その情報の集約と管理ができる連絡体制を構築した。また、従来の対面式以外の多様な相談手法を整備し、電話やメールに加え Microsoft forms を利用した Web 報告システムも確立した結果、学生相談室の利便性も向上し、相談件数総数は令和 3 年度 4,362 件（前年度比 111%）、令和 2 年度 3,943 件（前年度比 139%）となった。

○ワクチン接種の実施による地域貢献 令和 3 年度に学生、教職員、その他大学関係者、松江市内保育士等延べ 11,051 名に対して新型コロナウイルスワクチンの職域接種を実施した。このうち松江市内保育士等への接種については、地域貢献の観点から松江市と協議して実施したもので、延べ 1,341 名が接種した。

### ○項目別の状況

【76】学内構成員の健康保持に努めるため、大学が実施する健康診断の受診機会を、特定化学物質・有機溶剤を常時使用する学生（約 120 名）に広げるとともに、法令等に基づき適正な安全衛生 活動を実施する。

（令和 2 及び 3 事業年度の実施状況）松江キャンパス受動喫煙防止対策に係るロードマップ等に基づき、敷地内禁煙の徹底及び禁煙支援に関する基本方針を策定したほか、新規採用職員研修及び新入生オリエンテーションの際に、本学の敷地内禁煙に向けた取組の説明、資料配付及び啓発活動を行うとともに、本学構成員に敷地内禁煙、喫煙による健康障害及び禁煙相談に係る e-ラーニングを実施した。守衛の構内巡回時における喫煙場所等の監視を継続的に行うとともに、近隣住民に対し、松江キャンパス敷地内禁煙に係る通知を行った。一般健康診断及び特殊健康診断については、特定化学物質・有機溶剤を常時使用する教職員及び学生の適切な把握、受診項目、性別、年齢に応じた指定受診日分散等による混雑緩和策及び新型コロナウイルス感染症予防対策の徹底、また、追加日程の設定等を行い、構成員が受診しやすい環境の確保に努めた。ストレスチェックについて、実施期間を拡大

するとともに、教職員及び管理職に対して受検の周知を徹底した。高ストレス者については、面接指導による職員自身のストレスへの気付き及び対処の支援並びに職場環境の改善を通じて、メンタルヘルス不調の未然の防止を図った。また、令和2年度より学外の「メンタルヘルス相談機関（民間の相談機関に業務委託）」を1箇所増設し4箇所とするとともに、コロナ禍に伴う生活スタイル、勤務形態の変化によるストレスや心身の不調が予想されたため、メンタルヘルス相談について周知を行うなど、教職員が相談しやすい環境の整備に取り組んだ。

## II：学術研究活動

### 1. 学会・研究会参加

2021年

- |     |   |   |
|-----|---|---|
| 5月  | 日本学生相談学会第39回大会（オンライン）<br>第94回日本産業衛生学会（オンライン）  | 河野美江、執行三佳<br>長廻久美子                          |
| 6月  | 島根県産業看護部会第78回研修会（オンライン）<br>第116, 118回日本循環器学会中国・四国合同地方会（オンライン）<br>第63回脈波解析研究会（オンライン） | 長廻久美子<br>杉原志伸<br>杉原志伸                       |
| 7月  | 第1回日本箱庭療法学会研修会（オンライン）   | 猪口かおり                                       |
| 8月  | 第51回中国四国大学保健管理研究集会（オンライン）<br><br>治療と仕事の両立支援研修会（オンライン）                               | 河野美江、杉原志伸、猪口かおり、<br>長廻久美子、小林沙世<br>長廻久美子     |
| 9月  | 島根県臨床心理学研究会第38回研修会（オンライン）   | 猪口かおり                                       |
| 10月 | 島根県産業看護部会第79回研修会・第4回日本産業衛生学会<br>中国地方会研究会（オンライン）<br>第59回全国大学保健管理研究集会（オンライン）          | 長廻久美子<br>河野美江、杉原志伸、<br>猪口かおり、小林沙世、<br>長廻久美子 |
| 11月 | 日本産業看護学会第10回学術集会（オンライン）<br>第3回禁煙推進学術ネットワーク学術会議（オンライン）<br>第59回全国学生相談研修会（オンライン）       | 長廻久美子<br>杉原志伸<br>猪口かおり                      |
| 12月 | 第43回全国大学メンタルヘルス学会（オンライン）<br>第3回日本箱庭療法学会研修会（オンライン）                                   | 河野美江、猪口かおり<br>猪口かおり                         |
- 2022年
- |    |  |                |
|----|--|----------------|
| 1月 | 女性アスリートのための全国代表者会議（オンライン）<br>第55回全国大学府学生相談研究会議（オンライン）    | 河野美江<br>河野美江   |
| 2月 | 島根県産業看護部会第80回研修会（オンライン）<br>愛知県臨床心理士会2021年オンライン研修群（オンライン） | 長廻久美子<br>猪口かおり |
| 3月 | 第86回日本循環器学会学術集会（オンライン）                                   | 杉原志伸（座長）       |

### 2. 学会・研究会発表

2021年

- |    |   |
|----|---|
| 5月 | 「米国の性暴力被害学生支援に関する文献的考察」<br><u>河野美江、執行三佳</u> 日本学生相談学会第39回大会 筑波大学（オンライン）  |
| 6月 | 「コロナ禍前後の大学生の喫煙状況、及び禁煙外来の試み」<br><u>杉原志伸</u> 第116, 118回日本循環器学会 中国・四国合同地方会（オンライン）<br><br>「大学生におけるBMIとCAVIの逆相関関係」<br><u>杉原志伸</u> 第63回脈波解析研究会（オンライン） |
| 8月 | 「新型コロナ禍における学生相談室」<br><u>河野美江、杉原志伸、執行三佳、猪口かおり、小林亮輔、高橋朋子、小林沙世、長廻久美子、河添達也</u> 第51回中国四国大学保健管理研究集会 山口大学（オンライン）                                       |

- 11月 「大学における性暴力への対応～被害者支援から予防まで」  
河野美江 全国学生相談研修会（オンライン）
- 12月 「コロナ禍における学生支援～一地方大学での取り組み」 パネリスト  
河野美江 日本学生支援機構 令和3年度学生生活にかかる喫緊の課題に関するセミナー（オンライン）  
「東海大学における性暴力予防教育の取り組み」  
渥美治世, 小貫大輔, 山添匠, 森屋宏美, 富田誠, 柿添英文, 土井美果, 浅井さとみ, 山本義郎, 成川忠之, 濱田昌史, 和泉俊一郎, 河野美江, 宮地勇人 全国大学メンタルヘルス学会（オンライン）
- 2022年
- 3月 「Mini-Cogでの認知機能低下は経カテーテル大動脈弁植え込み術（TAVI）患者の再入院と関連する」  
須山朋子, 杉原志伸, 須山竜二, 城田欣也 第86回日本循環器学会学術集会（オンライン）

### 3. 著書

杉原志伸 「禁煙治療のための標準手順書」第8.1版 日本循環器学会禁煙推進部会 4月

杉原志伸 「海外留学健康の手引き」第4版 全国大学保健管理協会国際連携委員会、国際交流推進特別委員会

### 4. 学術論文

Maki Morita, Shinobu Sugihara, Yumiko Inoue, et al. Angiogenic effects of high molecular weight fucoidan in a mouse ischemic limb model. *Vascular failure*, 2021;4.2.61-67

須山竜二, 杉原志伸, 須山朋子 他 心肺停止蘇生後、急性呼吸窮迫症候群合併例に対して心臓リハビリテーションを行い、社会復帰を遂げた一症例 理学療法学 2021年

### 5. 報告書

河野美江, 執行三佳 「米国の性暴力被害学生支援に関する文献的考察」、日本学生相談学会第39回大会発表論文集 91, 2021.

河野美江, 杉原志伸, 執行三佳, 猪口かおり, 小林亮輔, 高橋朋子, 小林沙世, 長廻久美子, 河添達也 「新型コロナ禍における学生相談室」 第51回中国四国大学保健管理研究集会報告書24-28, 2021.

### 6. 学術雑誌査読

河野美江 学生相談研究2021

杉原志伸 総合保健課科学2021

### 7. 研究助成

河野美江 令和2年度~令和4年度 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究（C）

「性暴力被害を受けた学生の『回復』を促す支援マニュアルの作成」

（課題番号20K03460、研究代表者 河野美江）

杉原志伸 2020年~2021年 島根大学女性研究者をリーダーとする共同研究プロジェクト支援事業研究「生体電気インピーダンス分析機器を用いた肥満の病態解析と効果的な指導介入について」

### Ⅲ. 教育活動

河野美江

健康・スポーツ科学概論（基礎教育）

ジェンダー（共通教養）

健康科学概論(医学部)

病態治療学（専門教育）

杉原志伸

健康・スポーツ科学概論（基礎教育）

医学概論（専門教育）

人体の構造と機能及び疾病（専門教育）

病態治療学（専門教育）

地域包括ケア概論(専門教育)

猪口かおり

CS基礎（基礎教育）

## IV. 社会貢献・講演

河野美江

全国大学メンタルヘルス学会理事  
全国大学保健管理施設協議会メンタルヘルス委員会委員  
内閣府「若年層の性暴力被害の実態」に係る有識者検討会委員  
島根県母性衛生学会理事  
島根県健康相談アドバイザー  
島根県男女共同参画審議会委員  
島根県体育協会専門委員会委員  
島根県社会福祉審議会委員  
島根県人権施策推進協議会委員  
公益財団法人島根県市町村振興協会評議員  
松江市自死対策事業検討会委員  
松江市医師会学校保健部委員  
一般社団法人しまね性暴力被害者支援センター理事・事務局長

○講演

2021. 9 「多様な性への理解～大学としてどう取り組むか」 北里大学FD研修会 オンライン  
2021. 11 「多様な性への理解」 島根県体育協会 職員研修会 約50名 島根県職員会館  
2022. 1 「子どもを性暴力被害から守るために」 松江市学校保健会講演会他、性教育講演会  
2022. 2 「大学における性暴力への対応—予防から被害者支援まで—」 奈良県大学人権教育研究協議会講演会 オンライン  
中学校5校、高校2校、大学2校、教員等専門職1回、NPO等4回

杉原志伸

日本内科学会 中国支部評議員  
日本循環器学会 中国支部評議員  
日本循環器学会 禁煙推進部会委員  
日本心不全学会 代議員  
日本心臓病学会 心臓病上級臨床医 (FJCC)  
国立大学保健管理施設協議会 国際交流推進特別委員会委員  
大学における健康診断・健康関連情報の標準化と利活用に関わる調査委員会委員  
松江市たばこ対策推進会議委員  
松江工業高等専門学校倫理委員会委員

○講演

2021. 6 「循環器疾患の予防～ライフステージに合わせた健康管理～」 島根県産業看護部会第78回研修会 オンライン  
2021. 11 「食物、運動、薬物と尿酸値」 杏林シンポジアシリーズ「尿酸値を診る」 ラジオNIKKEI

長廻久美子

日本産業看護学会 評議員  
島根県産業看護部会 会長

執行三佳

島根リハビリテーション学院「臨床心理学」講義

小林亮輔

島根県臨床心理士・公認心理師協会 倫理委員  
島根リハビリテーション学院「心理学」講義  
島根県立宍道高等学校「カウンセリング心理学」講義  
島根県立高等看護学院「発達心理学」講義  
雲南警察署スーパーバイザー  
島根県警察本部少年女性対策課スーパーアドバイザー  
松江市個別地域ケア会議アドバイザー  
安来市個別地域ケア会議アドバイザー  
雲南市いじめ問題対策委員会 委員  
雲南市いじめ問題調査委員会 委員

## V. 事業・業務

月	事業・業務
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入学時定期健康診断（新入生）</li> <li>・入学式救護</li> <li>【4～5月】定期健康診断（在学生・留学生）</li> <li>【4～7月】定期健康診断事後指導・措置（新入生・在学生・留学生）</li> </ul>
5月	特別健康診断（RI取扱者 学生・職員）
6月	
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・COVID-19 ワクチン職域接種 1回目（7/4-7/11）</li> <li>・講演会「依存症について～当事者の声から紐解くその実際」渡邊洋次郎さん</li> </ul>
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・COVID-19 ワクチン職域接種 2回目（8/6-8/12）、松江市民接種 1回目（8/17, 8/20）</li> <li>・第51回中国四国大学保健管理研究集会（山口大学、オンライン開催）</li> <li>・特殊健康診断</li> </ul>
9月	・COVID-19 ワクチン松江市民接種 2回目（9/4, 9/17）
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・COVID-19 ワクチン職域接種 2回目追加（10/4）</li> <li>・第59回全国大学保健管理研究集会（広島大学、オンライン開催）</li> <li>・保健管理センターパンフレット発行</li> <li>・秋入学留学生健診</li> <li>・公開授業「性の多様性について」山口県宇部総合支援学校 今田真樹先生</li> <li>・【10～1月】学部との学生相談連携会議</li> </ul>
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公開授業「酒と健康」島根県断酒新生会会員、家族</li> <li>・特別健康診断（RI取扱者 学生・職員）</li> <li>・推薦入学試験救護</li> </ul>
12月	
1月	大学入学共通テスト救護
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別学力試験（前期日程）救護</li> <li>特殊健康診断</li> </ul>
3月	個別学力試験（後期日程）救護

## VI. 保健管理部門

### 1. 学生健康診断

#### (1) 定期健康診断・事後措置

##### 健康診断項目

項目	学年等	学 部		大 学 院		留学生
		1 年	2 年以上	1 年	2 年以上	
計 測		○	○	○	○	○
血 圧		-	-	-	-	-
内 科		○	○	○	○	○
胸部X線		○	該当者・ 希望者	○	該当者・ 希望者	○
尿 検 査		○	○ (2年生のみ)	○	-	-
WEB 問 診		○	○	○	○	○

令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のために健康診断項目を縮小し以下の通り行った。

- ・計測は身長、体重(BMI)のみ、血圧、視力の測定なし。
- ・胸部X線撮影：対象者は全新入生、全留学生、実習予定者、希望者
- ・医師の診察：問診で診察が必要な者や診察希望者のみを対象とした。
- ・問診：事前のMoodle上で行うWEB問診とし、全学生を対象とした。
- ・カウンセリング：医師が事前に診察必要と判断したものや診察希望者のみを対象とした。

#### 定期健康診断受診率

##### 学部

		1 年 生		2 年 生		3 年 生		4 年 生		5 年 生 以 上	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
法 文	対象者数	94	105	87	102	97	103	104	102	41	20
	受診者数	93	104	74	99	57	79	52	74	6	5
	受診率(%)	98.9	99.0	85.1	97.1	58.8	76.7	50.0	72.5	14.6	25.0
教 育	対象者数	63	73	60	79	65	69	71	64	14	5
	受診者数	63	73	60	79	65	67	62	58	6	1
	受診率(%)	100	100	100	100	100	97.1	87.3	90.6	42.9	20.0
人 間 科 学	対象者数	21	66	22	64	27	55	29	53	3	2
	受診者数	21	65	22	64	25	55	20	48	1	2
	受診率(%)	100	98.5	100	100	92.6	100	69.0	90.6	33.3	100
総 合 理 工	対象者数	333	83	334	80	337	86	333	66	85	6
	受診者数	330	82	271	78	219	63	204	42	28	2
	受診率(%)	99.1	98.8	81.1	97.5	65.0	73.3	61.3	63.6	32.9	33.3

生物資源	対象者数	122	84	117	96	122	99	129	87	27	9
	受診者数	122	84	92	92	77	66	85	55	5	4
	受診率(%)	100	100	78.6	95.8	63.1	66.7	65.9	63.2	18.5	44.4
計	対象者数	633	411	620	421	648	412	666	372	170	42
	受診者数	629	408	519	412	443	330	423	277	46	14
	受診率(%)	99.4	99.3	83.7	97.9	68.4	80.1	63.5	74.5	27.1	33.3

大学院

		1年生		2年生		3年生		4年生以上	
		男	女	男	女	男	女	男	女
人文社会科学 研究科	対象者数	—	—	6	11	—	—	—	—
	受診者数	—	—	4	9	—	—	—	—
	受診率(%)	—	—	66.7	81.8	—	—	—	—
人間社会科学研究科	対象者数	12	17	—	—	—	—	—	—
	受診者数	12	17	—	—	—	—	—	—
	受診率(%)	100	100	—	—	—	—	—	—
教育学研究科・ 教職大学院	対象者数	12	5	18	10	1	0	—	—
	受診者数	12	5	12	8	1	0	—	—
	受診率(%)	100	100	66.7	80.0	100	0	—	—
総合理工学研究科 (博士後期課程)	対象者数	—	—	1	0	8	0	4	3
	受診者数	—	—	0	0	6	0	1	1
	受診率(%)	—	—	0	0	75.0	0	25.0	33.3
自然科学研究科 (博士前期課程)	対象者数	153	58	129	28	—	—	—	—
	受診者数	136	48	82	26	—	—	—	—
	受診率(%)	88.9	82.8	63.6	92.9	—	—	—	—
自然科学研究科 (博士後期課程)	対象者数	7	2	4	1	—	—	—	—
	受診者数	6	2	4	1	—	—	—	—
	受診率(%)	85.7	100	100	100	—	—	—	—
計	対象者数	184	82	158	50	9	0	4	3
	受診者数	166	72	102	48	7	0	1	1
	受診率(%)	90.2	87.8	64.6	96.0	77.8	0	25.0	33.3

連合大学院農学研究科：男子5名 女子2名

科目等履修生等：男子3名 女子2名

## 事後措置

### ○結核検診（胸部 X 線撮影）

第一学年（入学年度）と実習のある学生のみを対象として健康診断時の胸部 X 線検査を実施している。ただし、結核問診の有所見者および医師が必要と判断した場合は対象に加えた。胸部 X 線有所見者には専門医療機関を紹介している。

受検者数		2,339
要精密検査者数		12
精密検査受験者数		10
精密検査結果	異常なし	6
	要観察	4
	要治療	0

### ○尿検査

学部・大学院新入生全員を対象に尿検査を施行している。有所見（陽性）者には、精密検査受診を勧奨し、医療機関を紹介している。令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため尿検査を中止とした。そのため、令和 3 年度は、学部 2 年生も対象に追加し、検査を行った。

#### ・新入生（学部）

	受検者	要精密検査者			精密検査受診者
		蛋白	糖	潜血	
男	580	1	3	2	4
女	377	1	1	12	3

#### ・新入生（大学院）

	受検者	要精密検査者			精密検査受診者
		蛋白	糖	潜血	
男	100	0	2	0	2
女	59	0	0	0	0

#### ・学部 2 年生

	受検者	要精密検査者			精密検査受診者
		蛋白	糖	潜血	
男	409	1	4	2	3
女	348	1	1	8	0

## (2) 特別健康診断(放射性同位元素 RI 等取扱者)

島根大学職員安全衛生管理規程第 23 条及び、島根大学総合科学研究支援センター遺伝子機能解析分野 RI 実験施設放射線障害予防規則第 18 条の規定により、放射線業務従事者の健診を年 2 回実施している。

1. 対象者：放射線・RI 取扱学生、教職員
2. 検査項目：①全身の自覚症状に関する問診  
②皮膚・眼球・爪の性状などの視診  
③一般血液検査（松江赤十字病院）

		6～9 月	12 月
新規登録者	学生	21	9
	職員	2	0
既登録者	学生	37	1
	職員	36	38
計		96	48
要精密検査者		0	0

## (3) 特殊健康診断（特化物質・有機溶剤等使用者対象）

健康障害の予防及び健康障害の早期発見を目的として教員に追加して学生に対しても特殊健康診断を 8 月～9 月に実施している。但し、未受診者は 2 月の健診受診を勧奨している。

受診者数（実人数）

学 部	有機溶剤	特定化学物質	合計
教育学部	1	0	1
総合理工学部	58	22	80
生物資源科学部	1	5	6
自然科学研究科	0	29	29
合計	60	56	116

## (4) 臨時健康診断（体育系部活・サークルの健康診断）

大学を代表して対外試合に出場するスポーツ選手や、強化合宿、体育実技、各クラブ活動の合宿などに対応して臨時健康診断を実施しているが、2020 年度に引き続き 2021 年度も新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、活動縮小と大会等の中止に伴い健康診断の実施はなかった。

## 2. 保健管理センター利用状況

### (1) 学生・職員等の健康相談等

保健管理センター利用内訳（延べ数）

		学生	留学生	職員	その他	合計
測定・検査	身体測定	71	1	2	0	74
	視力測定	8	0	1	0	9
	血圧・脈拍測定	105	3	17	7	132
	体温・酸素化測定	52	4	21	13	90
	尿検査	38	1	0	0	39
	その他	102	2	1	0	105
診察・健康相談	内科系	142	9	47	7	205
	外科系	13	3	3	0	19
	禁煙外来	12	0	14	0	26
	栄養相談	6	0	0	0	6
	健診事後措置	43	1	0	0	44
	保健・生活指導他	365	49	109	17	540
	連携・会議	3	2	188	26	219
	その他	70	5	10	8	93
精神保健		478	23	191	19	711
産業保健		0	0	555	2	557
処置	投薬	423	12	48	0	483
	外科系	23	4	28	0	55
	休養室利用等	24	0	14	4	42
専門医紹介	内科系	76	14	6	1	97
	外科系	76	23	15	1	115
	精神科	15	2	1	0	18
	婦人科	8	2	0	0	10
	その他	26	4	10	4	44
健康診断証明書・紹介状発行		20	4	2	0	26
合計		2,199	168	1,283	109	3,759

- ・学生は学部・大学院・研究生等で、その他は卒業生・家族等である。
- ・定期健康診断受検者数は含まない。

保健管理部門月別件数（延べ数）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
学生	75	115	162	134	83	41	105	136	129	51	52	53	1,136
院生	9	11	22	12	7	13	4	7	12	7	11	7	122
留学生	14	3	5	11	0	10	4	21	11	12	7	9	107
研究生等	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2
職員	28	29	26	42	36	34	34	78	78	98	53	51	587
家族	3	2	0	3	1	5	1	7	2	9	7	7	47
その他	1	0	0	0	0	0	0	8	1	12	3	6	31
合計	130	160	215	203	127	103	148	258	233	189	133	133	2,032

精神保健相談(人)

		延べ数合計	実数合計
学部	法文	94	28
	教育	49	16
	総合理工	112	46
	生物資源	105	32
	人間科学部	58	21
	医学部	1	1
	小計	419	144
大学院	人文社会学研究科	0	0
	教育学研究科	6	3
	自然科学研究科	36	9
	総合理工学研究科	7	1
	生物資源科学研究科	0	0
	人間社会学研究科	7	3
	連合大学院農学研究科	3	1
	小計	59	17
留学生		23	6
研究生等		0	0
職員		191	70
家族		18	16
その他		1	1
合計		711	254

## (2) 禁煙相談・支援窓口、禁煙外来

保健管理センターでは無料の保健師による禁煙相談、医師による禁煙外来・禁煙補助薬処方（ニコチンパッチ、<sup>®</sup>ニコチネル TTS）を行っている。2021 年は 2020 年に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策として電話やメールでの禁煙相談も継続し、利用者延べ数は学生 12 件、教職員 26 件であった。

## (3) 留学生対応

留学生に対して、健康診断問診表の英語版の作成、英語での診察、他医療機関受診時の通訳案内、サマースクールや秋入学の新入生への英語でのオリエンテーションを行っている。国際交流センターと連携し、「気になる留学生」のフォローを行っている。

新型コロナウイルス感染症に対する留学生の対応も適宜行った。2021 年度は年間延べ 168 名の留学生対応を行った。

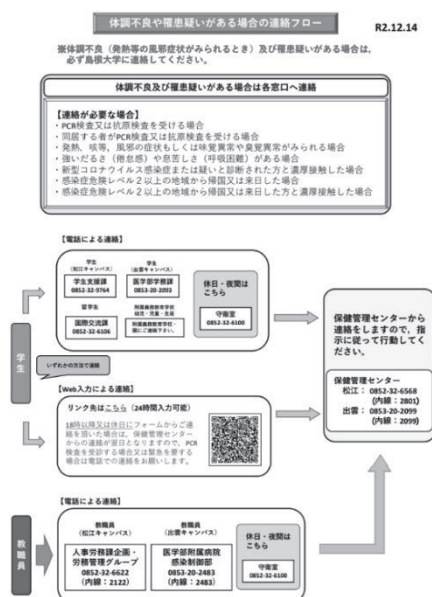
## (4) 新型コロナウイルス感染症対応

月別対応件（延べ件数）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
対応件数	46	303	66	231	330	73	58	58	13	272	191	373	2,014

### ① 体調不良者及び、罹患疑い者の連絡体制の構築・維持

大学構成員が体調不良時や罹患疑いの際に24時間体制で報告が出来、その情報の集約と管理ができる連絡体制を構築し、維持した。学内組織では新型コロナウイルス感染症対策本部事務室、国際交流課、学生支援課、附属義務教育学校・園、人事労務課、医学部学務課、医学部感染制御部、保健管理センター出雲と連携した。



## ②情報提供、資料作成

2021年度はコロナ関連の情報提供の記事を12件作成し、保健管理センターHPに掲載した。また新入生に対しては保健管理センターの紹介や新型コロナウイルス感染症対策の動画を作成しHPやMoodleで公開し情報周知を行った。

## ③ワクチンの職域接種

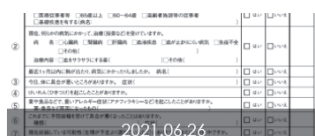
大学構成員、及び松江市民に対してCOVID-19の職域接種を行った。

	実施日	接種前対応 (臥位接種)	接種後対応 うち救急搬送者 うちアナフィラキシー症状	接種合計(名)
職域接種1回目	7/4-7/11	91	72 2 1	4,011
職域接種2回目	8/6-8/12	121	15 0 0	3,883
松江市民接種1回目	8/17, 8/20	9	12 1 1	908
松江市民接種2回目	9/14, 9/17	11	6 0 0	824
職域接種2回目追加	10/4	1	1 0 0	9
合計		233	106 3 2	9,635

接種に関する情報提供や相談窓口の周知もHP上で複数回行った。



松江市：夜間に急病になったら  
2021.06.26  
新型コロナウイルスワクチン接種後の注意事項、相談窓口



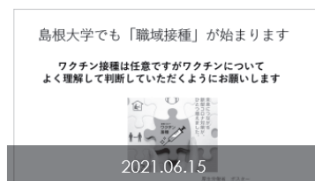
\*松江キャンパス限定\* ワクチン接種予約票の記載上の注意点



武田/モデルナ社新型コロナウイルスワクチンについて～接種予定の方は必ずご確認ください～



\*松江キャンパス限定\* 新型コロナウイルスワクチン接種の希望調査に関するQ&A



島根大学における新型コロナウイルスワクチン接種について～正しい情報とサポート体制～



生理用ナプキンを無料配布しています

## Ⅶ. 学 生 相 談 部 門

### 1. 学生定期健康診断時のカウンセラー面接

新入生を対象とする健康診断時に、医師による問診や事前スクリーニングにおいてメンタルヘルス不調と判断された学生に対し、会場に待機するカウンセラーが短時間の面接を行っている。

新入生健診時のカウンセラー面接実施者数

	所属	(人)
学部	総合理工学部	64
	法文学部	31
	教育学部	12
	生物資源科学部	37
	人間科学部	22
	計	166
大学院		45
合計		211

また、コロナ禍でのメンタルヘルス悪化をかんがみ、上回生においても同様に、健診時必要な学生に対面面接を実施した。

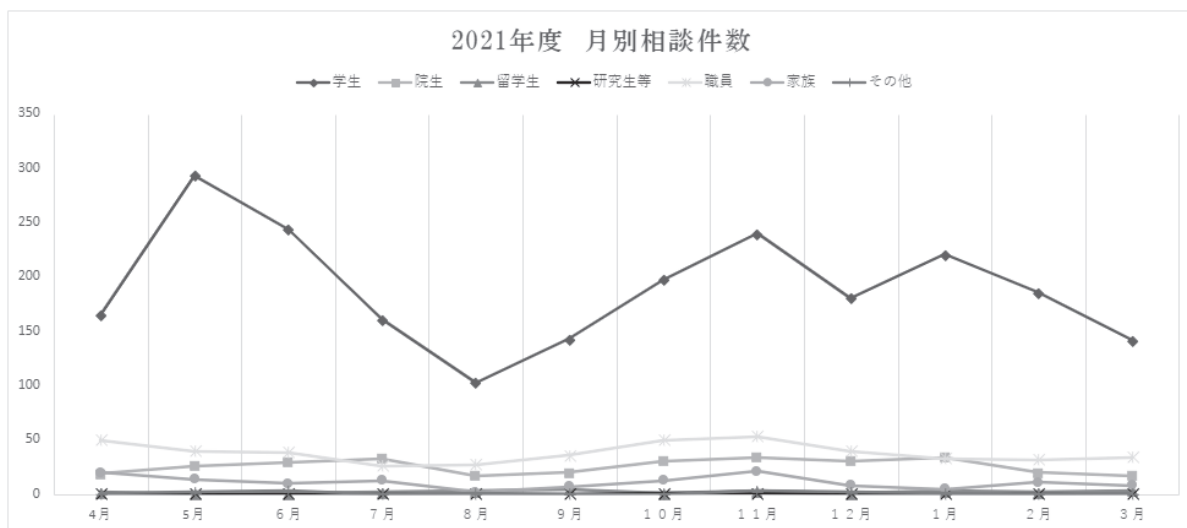
上回生健診時のカウンセラー面接実施者数

	所属	(人)
学部	総合理工学部	47
	法文学部	27
	教育学部	31
	生物資源科学部	32
	人間科学部	23
	計	160
大学院		4
合計		164

### 2. 学生相談室利用状況

月別相談数（延べ数）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
学生	165	294	244	161	103	143	198	240	181	221	186	142	2,278
院生	19	26	30	33	17	20	31	34	31	34	20	17	312
留学生	2	0	1	2	3	5	1	3	1	3	2	4	27
研究生等	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2
職員	50	40	39	26	27	36	50	53	40	33	32	34	460
家族	20	14	10	13	2	7	13	21	8	5	11	8	132
その他	1	2	3	0	1	0	0	3	2	1	0	1	14
合計	257	376	327	235	153	211	294	355	263	297	251	206	3,225



学部別男女別内訳 (延べ数)

	所属	延べ数	実数
学部	法文	446	91
	教育	287	54
	総合理工	685	164
	生物資源	526	113
	人間科学	313	66
	医学	21	7
	小 計	2278	495
大学院	人文社会学研究科	1	1
	教育学研究科	39	6
	自然科学研究科 (前期課程)	213	48
	総合理工学研究科 (後期課程)	9	2
	自然科学研究科 (後期課程)	24	2
	生物資源科学 研究科	1	1
	医学研究科	0	0
	人間社会研究科	20	6
	連合大学院 農学研究科	5	2
小 計	312	68	
	留学生	27	5
	研究生等	2	1
	職員	460	215
	家族	132	78
	その他	14	12
	合 計	3225	874

相談内容の内訳（延べ数）

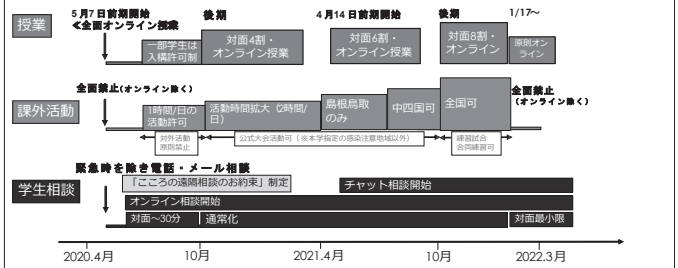
所属等		修学進路	対人関係	心身健康	学生生活	心理性格	家族家庭	ハラスメント	コンサルテーション	連携会議	緊急支援	発達	LGBT	インテイク	その他	カウンセリング	合計		
学部生	法文	男	9	3	67	56	0	0	0	0	0	1	0	0	9	1	146		
		女	15	5	141	92	16	12	0	1	0	4	0	0	12	2	300		
		他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	教育	男	7	1	20	24	10	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	65	
		女	31	6	96	59	4	1	0	0	0	0	8	0	0	16	1	222	
		他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	総合理工	男	79	10	106	167	6	0	7	0	2	14	30	0	0	31	2	454	
		女	25	2	99	71	9	10	0	1	0	1	0	0	0	13	0	231	
		他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	生物資源	男	30	3	94	90	5	1	4	0	0	5	22	0	0	21	2	277	
		女	13	2	147	54	5	2	5	0	0	1	1	1	0	18	0	249	
		他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	人間科学部	男	1	1	23	17	3	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	47	
		女	9	13	151	54	10	9	1	0	0	0	1	1	0	15	1	265	
		他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	
	医学部	男	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	2	0	6	
		女	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
		他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	0	1	0	13	
	小計	男	126	18	311	354	24	2	13	0	2	21	54	0	0	65	5	995	
		女	93	28	634	330	44	36	6	2	0	6	10	2	0	74	4	1,269	
		他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	0	1	0	14	
	大学院生	人文社会学研究科	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
			女	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
			他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		教育学研究科	男	6	0	6	2	2	0	0	0	0	0	1	0	0	3	0	20
			女	0	1	3	12	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	19
			他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自然科学研究科 (前期課程)		男	38	22	38	36	3	0	2	0	0	0	0	0	0	8	0	147	
		女	11	2	24	8	6	1	2	0	0	0	0	0	0	4	0	58	
		他	1	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	
総合理工学研究科 (前期課程)		男	0	0	1	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	
		女	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	3	
		他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
自然科学研究科 (後期課程)		男	2	0	3	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	
		女	1	0	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	15	
		他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

	生物資源科学 研究科	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		女	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
		他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	医学研究科	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	人間社会研究科	男	6	0	1	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11
		女	1	1	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	9
		他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	連合大学院 農学研究科	男	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
		女	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
		他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小 計	男	53	22	51	48	8	0	2	0	0	0	1	0	0	11	0	196
		女	15	4	44	23	9	2	3	0	1	0	0	0	0	7	0	108
		他	1	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
留学生	男	1	0	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	7	
	女	1	0	8	1	6	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	20	
	他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
研究生	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	女	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
	他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
職員	男	1	0	1	0	0	0	0	107	222	18	0	0	0	13	0	362	
	女	1	0	7	0	0	0	0	25	58	1	0	0	0	6	0	98	
	他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
家族	男	1	0	2	0	0	0	0	2	20	2	0	0	0	2	0	29	
	女	8	0	3	1	0	0	0	6	81	1	0	0	1	1	1	103	
	他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	男	0	0	1	0	0	0	0	0	1	4	0	0	0	0	0	6	
	女	0	1	0	1	0	0	0	0	2	1	0	0	0	3	0	8	
	他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合 計	男	182	40	369	404	32	2	15	109	245	45	55	0	0	91	6	1,595	
	女	118	33	696	358	59	38	11	33	142	9	10	2	1	91	7	1,608	
	他	1	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	13	0	1	0	22	

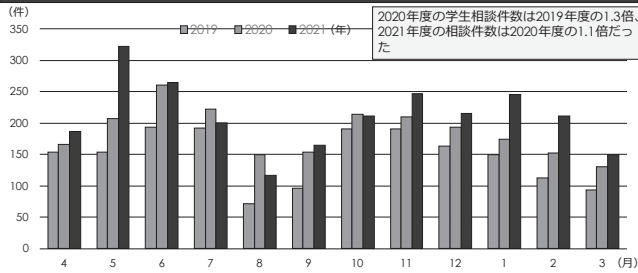
### 3. 支援活動報告

## 2021年度 学生相談まとめ

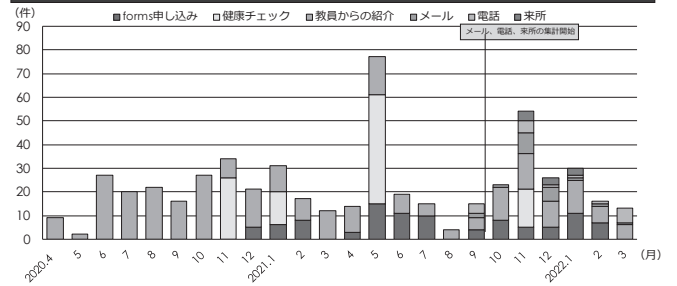
### 2020年4月以降の大学の状況



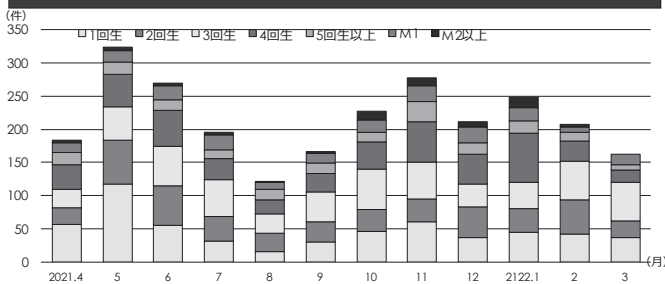
### 年度別月別学生相談件数 (2019 ~2021年, 延べ)



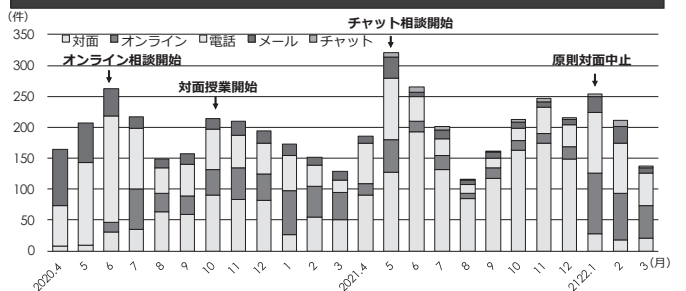
### 申込方法別新規相談件数 (実数)



### 学年別相談件数 (延べ)



### 相談方法別相談件数 (延べ)



## VIII. 教職員の健康管理

### 1. 教職員センター利用件数（再掲）（延べ数）

身体測定等	診察・健康相談	処置	精神保健	産業保健(*)	その他	合計
42	371	90	191	555	34	1,283

### 産業保健(\*)月別利用件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
合計	38	33	33	44	44	59	64	43	42	31	40	84	555

### 産業保健(\*)対応件数年推移

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
件数	109	203	313	555

産業保健に関する対応件数が年々増加している。個人面談だけでなく、所属課長や部局長とも連携をしながら対応を行っている。

### 2. 一般定期健康診断事後措置

令和3年度の教職員対象の健診受診率は97.8%(846名)であった。有所見者に対して受診勧奨二次や健診、他院への紹介を行った。

過去の健康診断受診率

年度	受診者数(人)	受診率(%)
平成25年度	843	97.9
平成26年度	882	97.7
平成27年度	877	98.0
平成28年度	870	97.8
平成29年度	864	98.0
平成30年度	846	95.5
令和元年度	837	95.3
令和2年度	866	98.3

高い受診率で推移しており、引き続き人事労務課と連携しながら受診勧奨を行っていく。

### 3. 特殊健康診断（特化物質・有機溶剤等使用者対象）

該当教員は79名であり受診率は100%であった。有所見者は名に対して受診勧奨や二次健診、他院への紹介を行った。

### 4. 高ストレス者産業医面談

令和3年度の教職員のストレスチェックの受講率は88.7%(795名)であった。松江地区での高ストレス者80名の内6名(6.5%)と産業医面談を行った。その他、面談結果を事業者に報告する必要のない、内科医診察やカウンセラーによる職場内相談も同時に行った。

#### 令和3年度、令和2年度受診率等

松江地区	令和3年	令和2年
ストレスチェック受検者/対象者数（受検率）	795/896名(88.7%)	(94.7%)
高ストレス者数/受験者数（高ストレス者率）	80/796名（10.1%）	(9.4%)
産業医面談受診者数/面接指導の勧奨対象者数(受診率)	6/77（6.5%）	(6.3%)

高ストレス者は例年約10%で推移しており、産業医面談の受診率は低値でとどまっている。

安全衛生委員会と連携しながら受診率を上げる対策を検討している。

#### 5. 復職支援

令和3年度の松江地区での休職者は13名であり、全員が精神疾患関連であった。休職後の復職者は3名であり支援に関して、人事労務課や担当部署と連携し、復職プログラムの施行や復職後の面談を継続した。

#### 6. 学外メンタルヘルス相談

教職員がカウンセリングを受けたいと希望しても学内の保健管理センターでは相談しにくい、とためらう場合も多いため、2020年2月より学外メンタルヘルス相談機関が設置され、教職員は5回まで無料で利用できるサービスが開始、継続となっている。

## IX. 広報・教育活動

### 1. 全学研修会

#### (1) 飲酒に関する講演会

2021年11月26日保健管理センターと島根県立心と体の相談センター主催で令和3年度アルコール関連問題地域セミナー、島根大学公開授業「酒と健康」を対面とオンデマンドのハイブリット形式で実施し38名の参加があった。保健管理センター杉原医師の講義と島根県断酒新生会の会員と会員家族から「アルコール依存症と回復へのみちのり」の内容で体験談をお話いただいた。

#### (2) ジェンダーに関する講演会

2021年10月15日保健管理センターとダイバーシティ推進室との共催で、教養教育課目「ジェンダー」の講義を公開講座としてオンラインで実施し307名（うち教養講義受講者約302名）の参加があった。講師として山口県宇部総合支援学校の今田真樹先生に「性の多様性について」の講演をいただいた。

#### (3) 依存症に関する講演会

2021年7月27日に保健管理センター主催で依存症に関する講演会を実施し、62名の参加があった。講師として渡邊洋次郎さんに「依存症について～当事者の声から紐解くその実際」の講演をいただいた。

### 2. 教職員対象の研修会

#### (1) 学部との学生相談連携会議

「学生の自殺を防ぐ-教職員にできること」をテーマに、各学部教授会の一部として実施した。

教員の88%が参加し、96%の教員が「理解できた」「まあ理解できた」と回答した。

総合理工学部 11月24日

人間科学部 11月17日

教育学部 11月24日

生物資源科学部 10月27日

法文学部 11月17日

#### (2) 学部・学科等における研修会

10月20日 人間社会学研究科「ハラスメント研修会」

12月22日 生物資源科学部「ハラスメント研修会」

## ハラスメントを 予防するために

保健管理センター  
河野美江 猪口かおり

### 大学でのアカデミック・ハラスメント

大学の構成員が教育・研究上の権力関係を用いて、不適切で不当な言動を行い、これによって相手が精神的・身体的な面について、修学・教育・研究や職務遂行に関連した不利な被害をこうむるもの  
「アカデミックハラスメント」防止等対策のため6大学合同研究協議会第3回報告書、2006

最も不快だったアカハラ体験(匿名調査ハラスメント問題調査、2014)

順位	内容	説明
1位	不十分な指導	ある特定の言葉や行為がハラスメントになるという、単純な一対一対応のものではない
2位	指示内容も忘れたり、雑業に充てる	
3位	私生活への干渉	個々の行為は一つだけ見れば違法とは言えないようなことが多いが、繰り返し継続的に行われると、蓄積にされた人にとっては耐え難い苦痛となる(青木、2007)
4位	こなしきれない作業課題	
5位	罵詈雑言・非難・叱責	
6位	他の教員の悪口	内容の程度が酷く、人前で、長時間、長期間にわたって、日常的に繰り返される、といった要素が揃くなるほど、ハラスメント性が蓄まる(杉原、2017)
7位	学業等の不当な評価	
8位	事実関係のうわさ	
9位	同僚間の不和、相乗	
10位	机を叩く、物を投げる、大声で怒罵る	

### (3) 新任教員・新採用職員研修

4月6日に「新型コロナウイルス感染症に対する島根大学の対応について」「気になる学生」について研修会を行った。

### (4) 大学入試試験における感染症対策研修

新型コロナウイルス感染症予防対策として10月には「新型コロナウイルス感染症予防対策～個人防護具について～」の動画を作成し、HPで公開した。

また、ノロウイルス感染症対策としては2020年に作成した「ノロウイルス感染症対策～嘔吐物処理・消毒方法～」(HP公開)を改めて周知した。

## 3. 学生対象の研修会

### (1) 新入生対象オリエンテーション

新入生に対しては入学前より保健管理センターの紹介や新型コロナウイルス感染症対策の動画を作成しHPやMoodleで公開し情報の周知を行った。

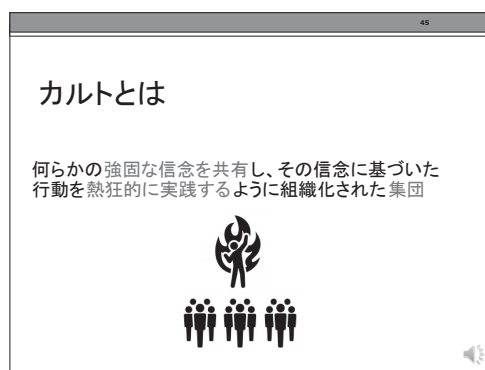
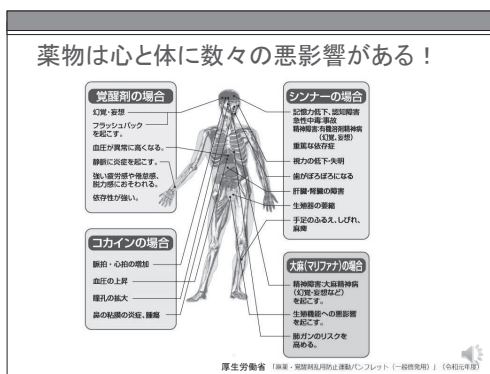
### (2) 入学時オリエンテーション「健康な学生生活を送るために」

総合理工学部のCS基礎において、新入生を対象とする授業として、大学生活におけるメンタルヘルス上の課題や相談先の紹介、またコロナ禍におけるメンタルヘルスの維持に関する心理教育の動画を作成した。

### (3) 「薬物乱用の注意」「カルトへの注意」

ほぼ全員の新入生が受講する一般教養「健康スポーツ」の授業内で「健康な学生生活のために」と題して薬物乱用やカルトへの注意喚起を行った。

また、カルトに関しては合格通知に新入生及び保護者宛にカルト集団の勧誘に注意する旨の文書を同封した。



## 4. 保健管理センターのしおり発行

保健管理センターのしおりを作成し新入生、保護者、学内等に配布している。

## 5. 保健管理センター松江ホームページ

HP では保健管理部門、学生相談部門に分けて活動の紹介を行っている。

センターの活動や健康に関する情報を随時 TOP ページに掲載している。

留学生への対応として英語でのページも作成している。

HP に対しては1年間でおおよそ8万件のアクセスがあった。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
アクセス数	11,184	2,768	18,665	7,747	5,565	7,203	5,869	3,311	1,855	3,582	3,987	7,533	79,269

## 6. e-ラーニングの実施

11月よりe-ラーニング「With コロナでの心と体の健康維持について」を行い、90%以上の教職員が視聴した。また、安全衛生委員会と協力して「松江キャンパスでの受動喫煙防止対策について」のe-ラーニングを2022年1月より行った。

## X その他の活動

### 1. 学内外機関との連携

#### (1) 障がい学生支援室

保健管理センター・学生相談室に相談のあった学生のうち、障がいに対する大学での合理的配慮を希望する学生や保護者を紹介している。また、障がい学生支援室に相談のあった学生のうち、心身の不調を伴う学生の紹介を受け、支援を行っている。

#### (2) 学生相談室会議

各学部の室員および学生相談室スタッフによる会議であり、活動報告と今後の支援の全体像について検討を行っている。2021年度は第一回は障がい学生支援室、第二回は障がい学生支援室と国際センターを加えた拡大学生相談室会議を行った。

第1回会議 2021年9月24日

第2回会議 2021年3月28日

### 2. 学外機関との連携

#### (1) 島根県東部発達障がい者支援センター「ウィッシュ」

アセスメントや就職支援等必要な学生に対し、連携して支援にあたっている。

#### (2) 松江公共職業安定所（ハローワーク松江）

今年度は、情報共有を主とした会議を6月10日に実施した。

#### (3) しまね性暴力被害者支援センターさひめ

性暴力被害に遭った学生に対し、しまね性暴力被害者支援センターさひめを紹介し、必要に応じて各種相談等における連携を図っている。

### 3. 緊急支援

緊急支援対応を要する事例1件に対し、当事者へのサポート、友人学生へのこころのケア、関係教職員へのコンサルテーションを行った。

## 新型コロナ禍における学生相談室

島根大学保健管理センター松江

河野美江 杉原志伸 執行三佳  
猪口かおり 小林亮輔 高橋朋子  
小林沙世 長廻久美子 河添達也

### 【はじめに】

2020 年より新型コロナウイルス感染症流行のため、国内の多くの大学で卒業式、入学式が中止され、対面授業がオンライン授業に変更となった。通常であれば様々な人との出会いがある大学生活で、人と会う機会が最小限となってしまい、さらにコロナウイルス感染や今後の生活への不安より、学生のメンタルヘルス悪化が懸念されている。

本学においては、2020 年前期の授業はすべてオンラインとなり、7 月からは卒業研究や修了研究などでの入構に限り許可された。新入生の中には実家にいた学生も多く、後期に対面授業が開始されても対面授業はわずかであり、知らない土地での生活で孤立と孤独を深める学生もいた。教室や学生食堂の人数が制限され、友人との出会いも少ない中、学生達は大きなストレスを感じていると思われたが、1 回生の相談は増加せず長く一人で悩んだ末の申し込みも散見されたことから、学生相談室への申し込みはハードルが高いと考えられた。

そこで学生相談室では、学生のメンタル不調を早期に把握し、学生生活を支援するために、学生からのオンライ

ンによる申し込みを開始し、オンラインやメール相談などの相談方法を拡充した。

### 【学生相談室での拡充点】

#### 1. オンライン面接の開始

日本学生相談学会の HP などを参考に、2020 年 5 月に「こころの遠隔相談のお約束」を制定し、6 月から Microsoft teams によるオンライン面接を開始した。新規相談者に対してはアセスメントのために、可能な限り初回は対面面接とした。

#### 2. 健康チェックシートの送付 (図 1)

職場で行われている「ストレスチェック」を参考に、Microsoft forms を用いて「健康チェックシート」を作成した。自分でチェックシートを用い、体の健康・

図1.学生健康チェックシート

こころの健康・修学や学生生活などについてチェックしてもらい、心配なことがある場合は、保健管理センター・学生相談室より希望の方法で連絡することとした。2020 年 11 月、2021 年 1 月、5 月に全学生にメールで送付した。

### 3. forms による申し込み (図 2)

2020 年 12 月からは簡単に学生相談の申し込みができるように、Microsoft forms による申し込みを開始し、保健管理センターHP で案内した。



図2. formsによる申し込み

#### 【目的】

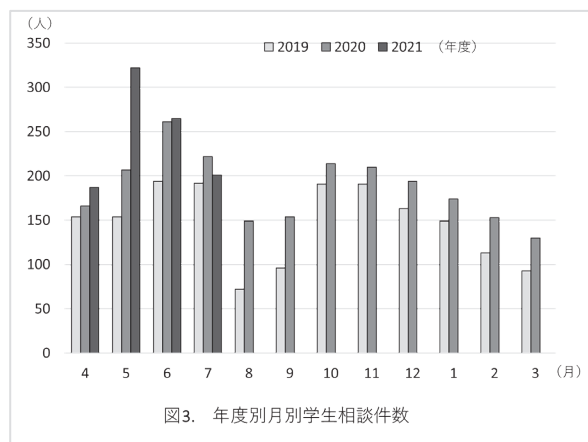
コロナ禍において開始、拡充した学生相談の窓口と方法の効果を明らかにすること。

#### 【対象と方法】

2019年4月より2021年7月までに、学生相談室に相談があった学生(学部生、大学院生、留学生、研究生)を対象とした。

方法は学生相談室利用票より、年度別月別相談件数、申込方法、相談方法を抽出し、それらの関連について検討した。

本研究における倫理的配慮に関して



は所属長の承認を得た。

#### 【結果】

##### 1. 年度別月別学生相談件数 (図 3)

2020 年度の総学生相談件数は 2,234 件と 2019 年度 1,762 件の 127% で、すべての月において相談件数が増加していた。2021 年度 4~7 月の学生相談件数は 975 件と 2020 年度 856 件の 114% で、特に 2021 年 5 月の相談件数は 2019 年度の 2 倍以上であった。

##### 2. 申し込み方法別新規相談件数 (図 4)

学生からの健康チェックシート返答は 145 件で、うち相談希望は 86 件 (59.3%) にあった。「体の健康について心配なことがある」は 16.9%、「ここ

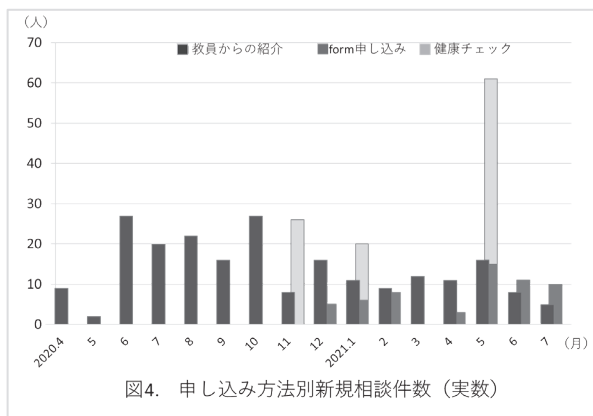
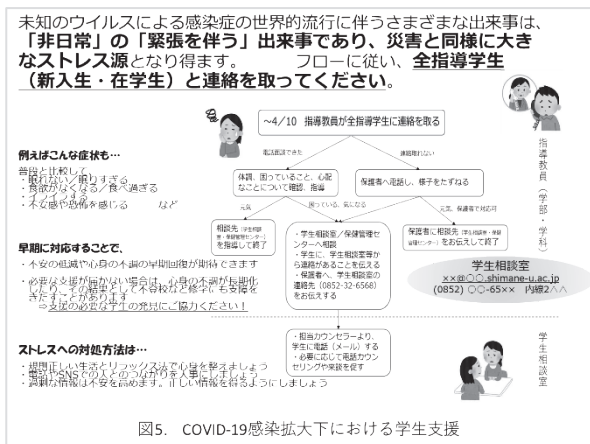


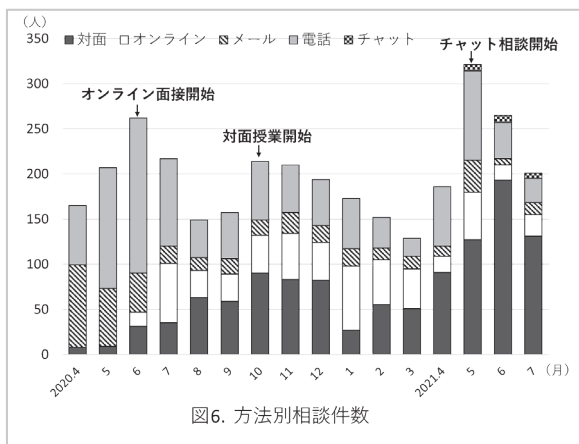
図4. 申し込み方法別新規相談件数 (実数)



ろの健康について心配なことがある」は 11.7%、「修学や学生生活について心配なことがある」は 19.3%であった。forms からの申し込みは毎月 10 件程度だった。

2020 年前期は、授業が開始した連休明けから、月に一度指導教員が学生に連絡し、居住地と体調や困っていること、心配なことなどについて確認、指導することになっていた。学生相談室では、4 月に教員に対し学生対応のフローチャートや送信メール例などについて情報提供した (図 5)。2020 年 6 月から 10 月まで、指導教員から学生相談室に毎月 20 名前後の学生の紹介があった。

### 3. 方法別相談件数 (図 6)



2020 年度前期は、学生相談室でも極力対面面接は控え、不眠や不安が強く対面が必要と考えられた学生に対してのみ、対面面接を行った。対面面接では、学生に体温測定、マスク着用、手指消毒を徹底し、面接室はアクリル板を設置し、換気を十分に行った。4、5 月は電話とメール相談が多かったが、7 月以降オンライン面接は約 2 割で推移し、8 月以降は対面面接が約 4 割に回復した。2021 年度は、4、5 月は対面面接が約 4 割、電話相談が約 3 割だったが 6、7 月は対面面接が 6 割以上となった。

2020 年後期に対面授業が可能となって以降は、対面面接を希望する学生が増加した。カウンセラーの見立てにより、対面面接に切り替えるケースも増加した。また、実家への帰省や自宅待機などで、オンライン面接や電話・メール相談を希望する学生もいた。

### 【考察】

本学において、新型コロナ禍における学生相談件数は、コロナ前と比較して増加していた。その理由として以下の 3 点が考えられる。

#### 1. 教員と連携した学生支援

コロナ禍の 2020 年は、2019 年に比べ、すべての月において相談件数が増加していた。2020 年前期の増加理由としては、指導教員からの紹介が多かったためと考えられる。本学では、学生をより多くの相談につなげるために、2007 年より「気になる学生」を教員から紹介してもらった「気になる学生調査」を行っている<sup>1)</sup>。学生相談室では毎年教員に対し「気になる学生への対応方法」について FD/SD 研修を行っており、近年では

1 年間に 150 人以上の紹介がある。このように日頃より教員と学生相談室との連携がとれていたことが、コロナ禍の緊急時に有効だったと考えられる。

## 2. 新たな相談申し込み方法

今回、コロナ禍で心身の不調を抱えている学生を学生相談につなげるために、オンラインからの相談申し込みを開始した。総務省の調査によると、10 代・20 代の若者における平日のコミュニケーション系ツールの平均利用時間は、音声電話の 5 分程度に対して、SNS は 70 分程度と報告されている<sup>2)</sup>。2021 年 5 月は forms や健康チェックシートからの申し込みが特に多かったが、入学、進級に伴い不安が高まる時期に、言語化を求められないチェックリスト形式で申し込みができることは相談のハードルを下げたと考えられる。

近年、学生相談などの臨床場面において、主体的に悩まず、身体化・行動化しやすい大学生の増加が指摘されている<sup>3)</sup>。また小川らは新型コロナ禍における発達障害及びその傾向のある学生の面接内容を分析した結果、ウイルスによる影響として「情報を入手できていない」「現状に不安を感じている、不安が身体化・行動化している」「不安にはなっていないが、対応できていない」「時間管理、課題管理ができていない」があげられたと報告している<sup>4)</sup>。健康チェックシートは自身のメンタル不調や学生生活上の課題に気づくきっかけとなると考えられた。

## 3. オンライン面接など相談方法の拡充

2020 年前期は実家にいる新入生が多かったため、学生相談室では急遽オンラ

イン環境を整備、オンライン面接の指針を作成し、6 月からオンライン面接を開始した。日本学生相談学会の作成したガイドラインによると、遠隔相談のメリットとして、「相談へのアクセス向上、利便性の向上、障壁の除去、偏見やプライバシーへの懸念の緩和、感情表現の促進、相談者のエンパワーメント、感染の防止」があり、デメリットとして「守秘、通信を傍受される可能性、専門職倫理との整合性、危機介入の難しさ、増大するニーズへの対応の難しさ」があると報告している<sup>5)</sup>。

対面面接が可能になって以降は対面を希望する学生が多かったが、アフターコロナにおいても、緊急時に自宅待機が必要な場合や就活・帰省などでオンライン相談の重要性は高いと考えられる。今後、対面面接とオンライン面接との効果の違いなどについて明らかにし、学生がどのような環境下にあっても、心理的支援の本質を大きく損ねることなく、相談ニーズに応え支援していくことが重要である。

### 【結語】

健康チェックや forms による申し込みなどの多様な申し込み方法が、学生相談のハードルを下げるために効果的と考えられた。

学生相談の基本は対面面接と考えられるが、アフターコロナにおいても緊急時に自宅待機が必要な場合や就活・帰省などでオンライン相談の重要性は高い。多様な相談方法の提示と臨機応変な対応が必要である。

【文献】

1. 河野美江、早瀬眞知子、寺脇玲子.  
「気になる学生」調査をきっかけとした  
学生支援. 学生相談研究. 34 (1) 23-35,  
2013.
2. 総務省情報通信政策研究所. 「令和 2  
年度情報通信メディアの利用時間と情  
報行動に関する調査報告書」 2021.  
[https://www.soumu.go.jp/main\\_content/  
000765258.pdf](https://www.soumu.go.jp/main_content/000765258.pdf)
3. 高石恭子. 現代学生のこころの育ちと  
高等教育に求められるこれからの学生  
支援. 京都大学高等教育研究. 15, 79-88,  
2009
4. 小川さやか、吉田ゆり、Peter Bernick、  
木下裕久、古林正和、西野友哉. 新型コ  
ロナウイルスが及ぼす発達障害及びそ  
の傾向のある大学生への影響と対応. 大  
学のメンタルヘルス. 4, 116-120, 2021
5. 日本学生相談学会. 遠隔相談に関す  
るガイドライン. 2020  
[https://www.gakuseisodan.com/wp-  
content/uploads/2020/10/enkaku\\_sou  
dan\\_guideline\\_ver01.pdf](https://www.gakuseisodan.com/wp-content/uploads/2020/10/enkaku_soudan_guideline_ver01.pdf)



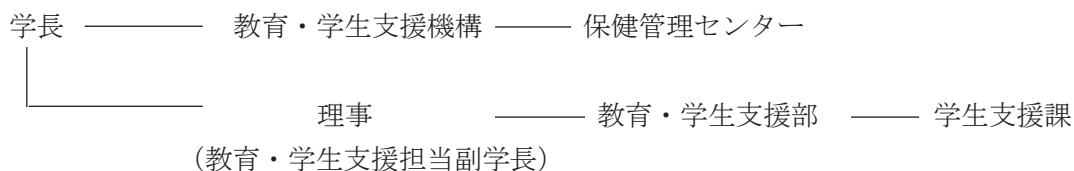
# 資 料



## I. 保健管理体制

### 1. 組織

平成 29 年度～



### 2. 構成

センター長	河添 達也 (兼任 教育学部教授)
副センター長	江副 智子
(出雲) 教授	江副 智子 (産業医)
保健師	井上 和子 (保健師)
嘱託講師	和田 葉子 (臨床心理士・公認心理師)
事務担当	錦織 千枝 (学務課総務係長)
(松江) 教授	河野 美江 (産婦人科医師・臨床心理士)
准教授	杉原 志伸 (内科医・産業医)
特任講師	猪口 かおり (臨床心理士・公認心理師)
嘱託講師	執行 三佳 (臨床心理士・公認心理師)
嘱託講師	小林 亮輔 (臨床心理士・公認心理師)
嘱託講師	高橋 朋子 (臨床心理士・公認心理師)
保健師	長廻 久美子
保健師	小林 沙世
事務担当	来間 圭三 (学生支援課課長)
	足立 哲男 (学生支援課補佐)

### 3. 島根大学教育・学生支援機構規則

(平成25年島大規則第15号)

(平成25年3月14日制定)

[令和2年12月28日最終改正]

(趣旨)

第1条 この規則は、管理学則(平成16年島大学則第1号)第16条の規定に基づき、島根大学教育・学生支援機構(以下「機構」という。)の組織及び運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

(目的)

第2条 機構は、島根大学(以下「本学」という。)の教育及び学生支援に関する企画・立案・実施・検証等を行い、もって本学の教育及び学生支援活動の充実発展に寄与することを目的とする。

2 前項の目的を達成するため、機構は、各学部・研究科等の学内組織と相互に連携を図るものとする。

(業務)

第3条 機構は、次の各号に掲げる業務を行う。

- 一 次条の各センター等の統括に関すること。
- 二 大学教育の質保証・改善に関すること。
- 三 学生の学修・学生生活支援に関すること。
- 四 教育成果の分析・評価に関すること。
- 五 その他機構の目的を達成するために必要な業務

(センター等)

第4条 機構に、次の室及びセンターを置く。

- 一 大学教育センター
- 二 保健管理センター
- 三 学生支援センター
- 四 障がい学生支援室

2 各センター等に関し必要な事項は、別に定める。

(組織)

第5条 機構に、次の各号に掲げる職員を置く。

- 一 機構長
- 二 専任教員
- 三 その他必要な職員

(機構長)

第6条 機構長は、学長が指名する理事をもって充てる。

2 機構長は、機構の業務を総括する。

(専任教員)

第7条 専任教員は、第4条第1項各号のセンター等のいずれかを担当させる。

(管理委員会)

第8条 機構の管理及び運営に関する事項を審議するため、教育・学生支援機構管理委員会(以下「管理委員会」という。)を置く。

2 管理委員会に関し必要な事項は、別に定める。

(事務)

第9条 機構の事務は、関係各課の協力を得て教育・学生支援部教育企画課において処理する。

(雑則)

第10条 この規則に定めるもののほか、機構に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規則は、平成25年4月1日から施行する。

附 則 (平成27年3月25日一部改正)

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則 (平成28年3月15日一部改正)

この規則は、平成28年4月1日から施行する。ただし、この規則による改正後の島根大学教育・学生支援機構規則(平成25年島大規則第15号)第7条第2項の規定は平成27年10月1日から適用する。

附 則 (平成28年6月24日一部改正)

この規則は、平成28年7月1日から施行する。

附 則 (平成29年3月21日一部改正)

この規則は、平成29年4月1日から施行する。

附 則 (平成30年3月20日一部改正)

この規則は、平成30年4月1日から施行する。

附 則 (平成31年3月22日一部改正)

この規則は、平成31年4月1日から施行する。

附 則 (令和2年12月28日一部改正)

この規則は、令和3年1月1日から施行する。

#### 4. 島根大学学生相談室規程

(平成16年島大規則第101号)

(平成16年4月1日制定)

[令和2年12月28日最終改正]

(設置)

第1条 島根大学松江キャンパスに、学生相談室(以下「相談室」という。)を置く。

(目的)

第2条 相談室は、学生の個人的諸問題について相談に応じ、必要な支援を行うとともに、円滑な相談業務を進めることを目的とする。

(業務)

第3条 相談室は、前条の目的を達成するため、各学部、各研究科、指導教員及び教育・学生支援機構保健管理センター等と連携し、次の業務を行う。

- 一 学生及びその関係者(以下「学生等」という。)の相談に応ずること。
- 二 学生相談に係る資料の収集に関すること。
- 三 相談室連絡会議に関すること。

四 その他相談室に関する必要な事項。

2 相談室の運営は、学生の厚生補導に関する規則（以下「厚生補導規則」という。）第4条第1項に定める島根大学学生委員長会議（以下「学生委員長会議」という。）において行う。

（組織）

第4条 前条の業務を行うため、相談室に次の各号に掲げる職員を置く。

- 一 室長
  - 二 相談員
  - 三 室員
- （室長）

第5条 前条第1号の室長は、保健管理センター長をもって充てる。

- 2 室長は相談室の業務を総括し、必要に応じて相談室連絡会議を開催する。
- 3 室長は必要に応じて、相談室の業務内容等に関して学生委員長会議へ報告等を行う。

（相談員）

第6条 第4条第2号に定める相談員は、次の各号に掲げるものをもって充てる。

- 一 保健管理センター教員及びカウンセラー
  - 二 その他学生委員長会議が必要と認めた者 若干名
- 2 前項第2号の相談員の任期は1年とし、再任を妨げない。ただし、補欠の相談員の任期は、前任者の残任期間とする。
  - 3 第6条第1項第2号の相談員は、学生委員長会議の推薦により学長が任命する。
  - 4 相談員は、第2条の目的を達成するため、学生等と面談し、問題解決のための助言・支援を行う。
  - 5 相談員は、室長が招集する相談室連絡会議に出席しなければならない。

（室員）

第7条 第4条第3号に定める室員は、次の各号に掲げるものをもって充てる。

- 一 各学部（医学部を除く）、自然科学研究科教員 各1名
  - 二 その他学生委員長会議が必要と認める者 若干名
- 2 前項第1号に定める室員は、厚生補導規則第4条第3項に定める委員会（以下「部局等委員会」という。）委員のうちから、各学生委員長の推薦により学長が任命する。
  - 3 第1項第2号に定める室員は、学生委員長会議の推薦により学長が任命する。
  - 4 室員の任期は1年とし、再任を妨げない。ただし、補欠の室員の任期は、前任者の残任期間とする。
  - 5 室員は、室長が招集する相談室連絡会議に出席しなければならない。
  - 6 相談室における学生等の相談状況を部局に伝え、学生指導・支援の改善について部局に提言する。
  - 7 室員は、所属する部局からの学生相談に対する要望等の集約を行う。

（相談室連絡会議）

第8条 相談業務を円滑に進めるための情報共有及び今後の対応等を審議するため相談室連絡会議を行う。

- 2 相談室連絡会議の構成員は第4条に定める職員とする。
- 3 相談室連絡会議は、室長が必要に応じて招集する。

（責務）

第9条 相談室の職員は、学生個人の秘密を厳守しなければならない。

(事務)

第10条 相談室の事務は、教育・学生支援部学生支援課において処理する。

附 則

この規則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

1 この規則は、平成30年8月1日から施行する。

2 この規則施行後最初に任命される第6条第1項第2号相談員については、同条第2項の規定に関わらず、平成31年3月31日までとする。

3 この規則施行後最初に任命される第7条第1項各号の室員については、同条第4項の規定に関わらず、平成31年3月31日までとする。

附 則 (令和2年12月28日一部改正)

この規則は、令和3年1月1日から施行する。

## II. 沿 革

### 1. 旧島根医科大学保健管理センター沿革

昭和50年	4月1日	島根医科大学開学	
昭和52年	4月1日	保健管理室業務開始	
平成3年	4月12日	保健管理センター開設 (保健管理室を廃止)	
		初代所長 恒松徳五郎 (内科学講座第三) 教授	就任 (併任)
平成3年	7月1日	保健師 米原満子 着任	
平成4年	3月16日	講師 野原隆彦 (第一外科より)	着任
平成4年	4月1日	保健管理センター開所	
平成5年	4月1日	2代所長 加藤讓 (内科学講座第一) 教授	就任 (併任)
平成7年	4月1日	3代所長 福本四郎 (内科学講座第二) 教授	就任 (併任)
		非常勤カウンセラー 和田 (津森) 葉子	着任
平成8年	9月16日	4代所長 小林祥泰 (内科学講座第三) 教授	就任 (併任)
平成10年	9月16日	5代所長 高畠利一 (内科学講座第四) 教授	就任 (併任)
平成12年	9月16日	6代所長 木下芳一 (内科学講座第二) 教授	就任 (併任)
平成14年	9月16日	7代所長 加藤 讓 (内科学講座第一) 教授	就任 (併任)
平成15年	10月1日	旧島根大学と島根医科大学が統合	

## 2. 島根大学保健管理センター沿革

昭和41年	開学以来設置されていた学生健康相談所に代わり、昭和41年6月国立学校設置法施行規則第29条の2の規定に基づき学生の健康管理に関する専門的業務を行う厚生施設として、全国で4大学（東大、京大、長崎大、島根大）に設置された。		
	初代所長（併）福井一明助教授（教育学部）	就任	
	井上照雄助教授（精神科）	着任	
	看護師	徳永末子	着任 ～昭和53年3月
	非常勤講師	村江通之（衛生学）	
	非常勤医師	石倉 幌（内科）	～昭和60年3月
		高橋富士郎（内科）	
		青戸陽一（歯科）	～昭和55年3月
		茂木五郎（耳鼻科）	
昭和42年4月	所長	井上照雄助教授	就任
	非常勤医師	西村 充（耳鼻科）	～昭和55年3月
昭和47年12月	本部管理棟へ移転		
昭和51年4月	所長（併）	小滝信夫教授（教育学部）	就任 ～昭和52年3月
	助教授	井上照雄 教授に昇任	
	非常勤医師	中島隆司（整形外科）	
昭和52年4月	所長（併）	稲波正充教授（教育学部）	就任 ～昭和57年3月
昭和53年4月	看護師	三崎キクノ	着任 ～昭和58年3月
	臨床検査技師	柏（永海）紀子	着任 ～平成28年3月
昭和55年	非常勤医師	青戸泰吉（歯科）	～平成12年3月
		永松力（内科）	
昭和56年	非常勤カウンセラー	落合潮	着任 ～平成5年3月
	非常勤カウンセラー	大西俊江講師（教育学部）	着任
昭和58年4月	所長	井上照雄教授（精神科）	就任 ～平成5年3月
	講師	藤永佳代子（小児科）	着任 ～昭和60年12月
	看護師	坪倉（清水）千歳	着任
昭和60年4月	非常勤医師	池田博（内科）	
昭和61年1月	講師	谷本浩一（消化器内科）	着任 ～昭和61年12月
昭和61年2月	保健管理センター現在地に移転		
昭和61年4月	講師	船井哲夫（精神科）	着任
平成4年4月	所長	喜多村望教授（教育学部）	就任 ～平成7年3月
	講師	船井哲夫 助教授に昇任	～平成6年3月
平成5年4月	助教授	荒川長巳（精神科）	着任 ～平成30年3月
	非常勤カウンセラー	斉藤渉	着任 ～平成6年3月
平成6年4月	助手	山本大介（精神科）	着任

	非常勤カウンセラー	和田（津森）葉子	着任	～平成9年3月
平成8年4月	所長（併）	猪野郁子教授（教育学部）	就任	
平成9年4月	非常勤カウンセラー	足立富美子	着任	～平成17年3月
平成14年4月	非常勤カウンセラー	早瀬真知子	着任	
平成15年4月	助教授	荒川長巳 教授に昇任		～平成30年3月
平成15年9月	講師	山本大介 助教授に昇任		～平成19年4月
平成15年10月	旧島根大学・島根医科大学 統合			
	所長(併)	猪野郁子 教授（教育学部）	就任	～平成17年3月
	副所長(併)	小林祥泰 教授（医学部）	就任	～平成16年3月
	教授	荒川長巳（精神科）		
	助教授	山本大介（精神科）		
	講師	野原隆彦（外科）		
	看護師	坪倉千歳		～平成21年3月
	保健師	米原満子		～令和3年3月
	臨床検査技師	柏紀子		～平成28年3月
	非常勤医師	池田博（内科）		～平成17年3月
	非常勤カウンセラー	大西俊江 名誉教授		～平成17年3月
	非常勤カウンセラー	足立富美子		～平成17年3月
	非常勤カウンセラー	和田葉子		
平成16年4月	国立大学法人 島根大学となる			
平成17年4月	所長(併)	蘆田耕一 教授（法文学部）		～平成23年3月
	副所長(併)	杉本利嗣 教授（医学部）		～平成21年3月
	特任講師	早瀬真知子	着任	～平成28年3月
	非常勤医師	坂之上一史（内科医師）		～平成28年3月
	講師	野原隆彦 助教授に昇任		
平成19年4月	助教授	野原隆彦 教授に昇任		
平成20年1月	講師	河野美江（産婦人科）	着任	
平成21年4月	副所長(兼)	野原隆彦 教授 就任		～平成22年3月
	保健師	長廻久美子	着任	
平成21年5月	嘱託講師（カウンセラー）	小林亮輔	着任	
平成22年4月	教授	江副智子（予防医学）	着任	
	副所長（兼）	江副智子 教授就任		
平成22年4月	講師	河野美江 准教授に昇任		
平成23年4月	所長（兼）	竹永三男 教授（法文学部）		～平成26年9月
平成23年7月	嘱託講師（カウンセラー）	執行三佳	着任	
平成24年4月	保健管理センター出雲内に「学生相談室」移転			
平成25年4月	島根大学教育・学生支援機構保健管理センターとなる			
平成26年10月	センター長(兼)	谷口隆雄教授(総合理工学研究科)	就任	～平成27年3月
平成27年3月	センター長(兼)	尾崎浩一教授(生物資源科学部)	就任	～平成31年3月
平成27年4月	嘱託講師(カウンセラー)	和田葉子		
		保健管理センター出雲「学生相談室」カウンセラー兼任		
平成28年4月	保健師	小林沙世	着任	
	特任講師	執行三佳	着任	～令和3年4月より 嘱託講師

	嘱託講師(カウンセラー)	早瀬眞知子	着任	～平成31年3月
平成30年4月	准教授	河野美江 教授に昇任		
	准教授	杉原志伸	着任	
8月	保健管理センター松江「学生相談室」開設			
10月	保健師	米倉かおる	着任	～令和2年2月
平成31年4月	センター長(兼)	河添達也教授(教育学部)	就任	～令和4年3月
	嘱託講師(カウンセラー)	高橋朋子	着任	
令和2年4月	保健師	井上和子	着任	
令和3年4月	特任講師(カウンセラー)	猪口かおり	着任	



島根大学保健管理センター松江年報

[2021年度]

令和5年1月発行

島根大学保健管理センター松江  
〒690-8504 島根県松江市西川津町 1060  
TEL 0852-32-6568